



平成30年9月28日

とべだより

10月号

横浜市立戸部小学校

それぞれが飛べ みんなで翔べ ゆめいっぱい戸部

学校長 柳澤 潤



明日は、いよいよ「とべスポ（とべとべスポーツフェスティバル2018）」です。子どもたちは、練習も万全、気合も十分です。まずは、天気にも恵まれますように、そして、安全で楽しく実施できますようにと願っています。保護者・地域の皆様、子どもたちへの温かな声援、励ましをどうぞよろしくお願い致します。

戸部小には、とべスポを成功に導くため、取り組んでいることがあります。まず一つ目は、「とべフレチーム」（異学年の縦割り少人数グループ）による、仲間づくりです。学年が替わる4月すぐに、グループ編成をして、縦割り活動を開始します。5月には、縦割りグループで全校遠足。年間を通じて高学年がとべフレチームをリードします。先輩を見て育った5・6年生は、これを境に優しいお兄さん、お姉さんとして成長します。全校遠足は、掃部山公園・野毛山公園と、欲張って二つの公園での活動でしたが、1年生でも誰一人弱音を吐かず、最後まで歩き通しました。高学年のリーダーとともに歩くことが、1年生の一人ひとりを強くするのです。このとべフレチームが、とべスポでも活躍します。とべスポの入場行進や整列、応援など、とべフレチームの動きにも、着目してほしいと思います。

二つ目は、とべスポを迎えるまでの練り上げられたセレモニーの数々です。赤白決めの「とべスポ出発式」では、1組、2組がそれぞれ何色になるかを決めました。各学級代表による一人綱引きや腕相撲、二人飛びつき綱引きの対決があり、体育館に歓声とため息が漏れました。そして、団結式。赤白スローガン発表、応援団披露、リレー選手紹介がありました。また、直前になっての応援練習など、とべスポの雰囲気が一気に高まるように日程が組まれています。

三つ目は、「とべとべコール」。開会式のプログラムにも位置づいている、とても大事な掛け声です。応援団長の掛け声に合わせて、「とべとべとーべ、それぞれとーべ、みんなでとーべ、ゆめいっぱいとーべ・・・」と、頭の上で手拍子をしながら、テンポよく全員でコールします。これが独特で、各行事ごとに少しずつ変化をさせて、リーダーがみんなを鼓舞するのです。全児童の意気が高まり、一体感がつくられます。戸部小学校の学校教育目標である「それぞれが飛べ みんなで翔べ ゆめいっぱい戸部」を、子どもたちは各行事ごとに、めあてにあった変化をつけて、とべとべコールとして叫んでいるのです。

当たり前のことですが、教師の熱のある指導は欠かせません。低・中・高学年ごとの演技、競技指導のほか、応援団、リレーの選手、行進曲隊の朝練指導や、各係の指導など、限られた時間の中で全力を尽くしてきました。また、地域の方からは、「西区音頭」を丁寧にご指導いただきました。とべスポ当日は、「それぞれが輝き、みんなで力を合わせ、最高のとべスポ」になるよう、最善を尽くしてまいります。

明年の創立140周年を目前にして、継続すること、発展させることに、いつも思いを巡らせています。未来を創る子どもたちとともに、ゆめいっぱいの学校を創っていきます。

今月もどうぞ、よろしくお願い致します。